



### 病院の理念

1. 患者本位の医療を行います。
2. 良質な医療を行います。
3. 行政サービスという自覚を持った医療を行います。

## 地域包括ケア病棟落成記念式典



令和元年10月1日より稼働の地域包括ケア病棟にて9月30日に落成記念式典を行いました。須藤市長をはじめ市議会議員、県議会議員等関係者の皆さんが新病棟の完成と今後の発展を願い式典を執り行いました。

この地域包括ケア病棟は急性期治療を終了し、すぐに、在宅や施設での生活には不安の

ある方や、在宅・介護施設など、ほかの施設で療養中から入院した方に対して、在宅復帰に向けた診療、看護、準備などを行うことを目的とした病棟です。入院期間（平均在院日数）は60日以内となっています。

また、退院支援の他にも介護者の負担軽減のための一時的な入院「レスパイト（休息）入院」に対応し、在宅で常時の医療管理や介護が必要な人も受け入れていきます。以前まで地域包括ケア病棟のあった3A病棟は整形外科病棟として稼働しています。急性期病棟と地域包括病棟の両立が富士宮市の掲げている「地域医療の充実により市民が健康に暮らせるまちづくり」に貢献できるものと考え、患者さんに寄り添った医療を提供していきます。

# インフルエンザ流行期の面会について

当院では、職員は感染対策のために手の消毒を行い、インフルエンザの流行期前には予防接種を受け、マスクを着用して、インフルエンザの蔓延予防に努めています。

しかし、例年、入院中の患者さんがインフルエンザを発症することがあります。一因としては、外部からインフルエンザウイルスが持ち込まれることです。インフルエンザは、発症する前から周囲に感染します。人によっては症状がほとんど現れない不顕性感染の場合もあり、面会により無自覚に入院患者さんを感染させる可能性があります。入院患者さんは免疫力が低下されており、インフルエンザに罹患することで、重症化や、死亡につながる可能性があります。そのため、県から富士・富士宮地区がインフルエンザ注意レベルと発表された場合や院内での流行がみられる場合、面会が禁止となります。面会禁止はインフルエンザの流行が終了するまでの1～2ヶ月程度です。身の回りの世話（着替えなどの持ち込み・持ち帰り）をされる方のみ面会可能ですが、その場合でも必ずナースステーションに声をかけ、マスクの着用と手の消毒をお願いします。その他の方は、マスクを着用されていても面会はできません。遠方からお越しの場合にもお断りしますので、事前に病院へご確認ください。

また、面会禁止ではない場合でも、冬期（12月～3月）に病院にお越しになる際（面会・受診等）には、マスクの着用と手の消毒をお願いします。院内のインフルエンザ蔓延を防止し、入院患者さんの安全を確保するための措置です。

**なお、本年度は12月26日より面会禁止となっております。ご理解とご協力をお願いします。**



## 市民健康講座のお知らせ

日本人に多いとされている胃がん・食道がん  
わかりやすく説明します

**講師** 浜松医科大学外科学第二講座 教授 竹内裕也 先生

**日時** 令和2年1月17日（金）18:30～20:00

**場所** 市立病院 南棟4階会議室

日本人に多いと言われている、胃がんや食道がん。食道と胃は食べ物が最初に通る場所で、2つのがんは、40歳後半の男性に多くみられます。

胃がんは、ピロリ菌感染が疑われる人は除菌が必要で、たばこが好きな人や塩分を過剰に摂取する人は注意が必要です。

食道がんは、お酒、たばこが好きな人やお酒を飲むと赤くなる人は注意が必要です。



© 富士宮市さくやちゃん

## ● 医師の人事異動について

9月30日退任

産婦人科	松木翔太郎
小児科	谷川 渉

10月1日就任

泌尿器科	矢野 公大
小児科	伊藤 裕

〒418-0076

静岡県富士宮市錦町3番1号

電話：0544-27-3151

FAX：0544-23-7232

e-mail:h-kanri@city.fujinomiya.lg.jp

http://fujinomiya-hp.jp